

## ●せんだい電子図書館の利用状況

期間：令和3年11月から令和4年5月末

ジャンル名	総資料数 (コンテンツ数)	総資料数割合	貸出数 (延べ)	貸出割合
一般書	2,413	66.3%	13,565	66.2%
児童書	1,006	27.7%	5371	26.2%
郷土資料	112	3.1%	895	4.4%
震災資料	106	2.9%	653	3.2%
合計	<b>3,637</b>	<b>100%</b>	<b>20,484</b>	<b>100%</b>

ログイン数	<b>85,204</b>
予約数	<b>11,127</b>

## ◆運営上の利点と課題

- ・いつでもどこでも、電子図書館に接続できる端末があれば、読書を楽しむことができる。
- ・貸出期間（2週間）を過ぎると、自動的に返却されるため延滞が起きないことから返却忘れが無く、図書館の側でも督促に係る業務負担が減少。
- ・検索から貸出までの操作が簡単で利用しやすいため、使用方法に関する問い合わせがほぼない。
- ・本を管理する物理的なスペースの確保が必要なく、蔵書点検などの作業が不要である。
- ・従来の図書館システムと連携していないため、電子図書館を利用するための新規登録手続きを別途行わなければならない。
- ・1冊あたりの使用料が高いため、蔵書を大幅に増やすことが難しい。